

再 評 価 実 施 事 業 調 書

番号	9	事業名	鎌ヶ谷市公共下水道事業		路線又は箇所名等		手賀沼処理区		
事業所管課		下水道課			事業主体			鎌ヶ谷市	
事業化年度	昭和57年度	用地着手年度			工事着手年度	昭和57年度	再評価の理由	再評価実施後一定期間を経過したため	
					工事終了年度	平成53年度			
費用便益比 B / C	1.3	総費用	733億円	総便益	930億円	基準年	平成20年度	供用開始 年 度	昭和61年 度

【事業概要】

項目	全体計画(目標年次:H29)	事業計画(完成予定年次:H22)	現況(H20)
処理区域面積	1,009ha	559ha	391ha
処理人口	61,000人	54,340人	34,600人
事業費	428億円	271億円	210億円

【事業の進捗状況】

指 標	状 況
事業の進捗状況	平成20年度末時点の整備見込み面積は、事業計画559haに対して391haであり、整備率は70%である。
処理場用地の取得状況	
処理施設の供用状況	
供用開始区域の接続状況	接続率は86%である。
地元情勢等	下水道事業の必要性について、市議会及び市民の理解を得ている。

【社会経済情勢等】

指 標	状 況
社会経済情勢	新たな開発等もなく、下水道事業に影響のある大きな社会情勢の変化は特にない。
自然環境条件	水質汚濁に係る水質環境基準の新たな設定等、下水道事業に影響のある要因はない。
計画変更の有無及びその程度	全体計画及び事業計画については、必要に応じ適切に見直しをしている。

【コスト縮減・代替案】

指 標	状 況
コスト縮減	埋め戻し材の改良土使用、路面復旧に再生材の利用等により、コストの縮減に努めている。
代替案	本市の市街化の状況から、代替としての浄化槽整備よりも、下水道整備が最適。

【対応方針(案)】

鎌ヶ谷市公共下水道事業は順調に進展しており、今後も順調な進展が見込まれることから、当事業を継続していく方針です。

再 評 価 実 施 事 業 調 書

番号	9	事業名	鎌ヶ谷市公共下水道事業		路線又は箇所名等		印旛処理区		
事業所管課		下水道課			事業主体			鎌ヶ谷市	
事業化年度	昭和49年度	用地着手年度			工事着手年度	昭和49年度	再評価の理由	再評価実施後一定期間を経過したため	
					工事終了年度	平成53年度			
費用便益比 B/C	2.0	総費用	258億円	総便益	515億円	基準年	平成20年度	供用開始 年 度	昭和56年 度

【事業概要】

項目	全体計画(目標年次:H29)	事業計画(完成予定年次:H22)	現況(H20)
処理区域面積	228ha	217ha	213ha
処理人口	22,000人	20,770人	20,600人
事業費	70億円	69億円	66億円

【事業の進捗状況】

指 標	状 況
事業の進捗状況	平成20年度末時点の整備見込み面積は、事業計画217haに対して213haであり、整備率は98%である。
処理場用地の取得状況	
処理施設の供用状況	
供用開始区域の接続状況	接続率は96%である。
地元情勢等	下水道事業の必要性について、市議会及び市民の理解を得ている。

【社会経済情勢等】

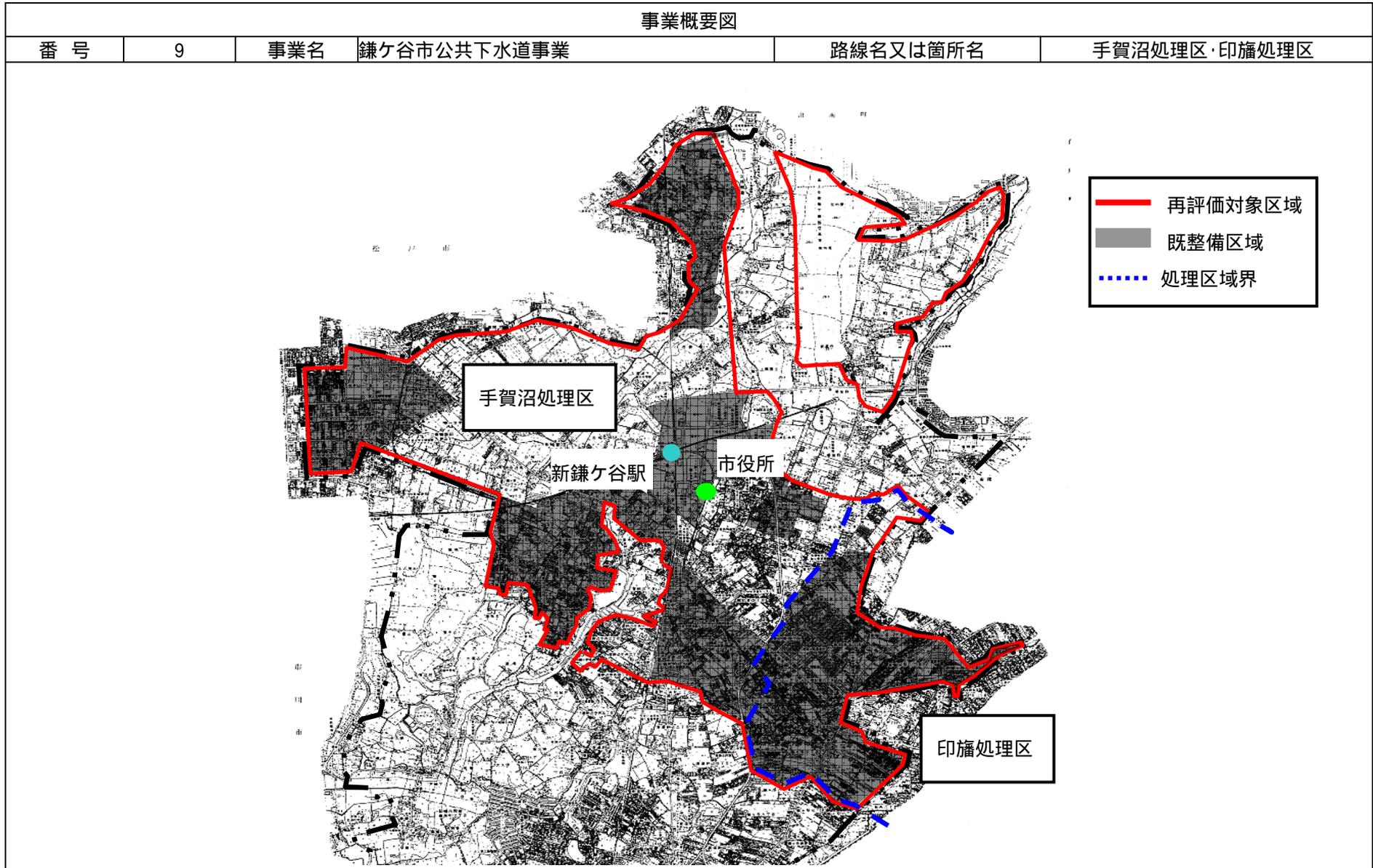
指 標	状 況
社会経済情勢	新たな開発等もなく、下水道事業に影響のある大きな社会情勢の変化は特にない。
自然環境条件	水質汚濁に係る水質環境基準の新たな設定等、下水道事業に影響のある要因はない。
計画変更の有無及びその程度	全体計画及び事業計画については、必要に応じ適切に見直しをしている。

【コスト縮減・代替案】

指 標	状 況
コスト縮減	埋め戻し材の改良土使用、路面復旧に再生材の利用等により、コストの縮減に努めている。
代替案	本市の市街化の状況から、代替としての浄化槽整備よりも、下水道整備が最適。

【対応方針(案)】

鎌ヶ谷市公共下水道事業は順調に進展しており、今後も順調な進展が見込まれることから、当事業を継続していく方針です。



【別紙様式5】

再々評価事業に関する調書

番号	9	事業名	鎌ヶ谷市公共下水道事業	路線又は箇所名等	手賀沼処理区	
事業化年度	昭和57年度	用地着手年度		工事着手年度	昭和57年度	
【再評価の概要】						
再評価実施年度 (基準年)	平成10年度	供用開始 年 度	昭和61年度	対応方針	継 続	
B / C		総費用		総便益		
再評価時の委員会の意見及び当時の状況 事業の継続が妥当とのご意見をいただいた。						
再評価時の進捗状況及び再評価時想定の10年後の進捗状況						
	計 画		進捗状況			
全体事業費	428億円		128億円			
用地取得面積						
供用面積(延長)	1,009ha		161ha			
【再々評価の概要】						
再評価実施年度 (基準年)	平成20年度	供用開始 年 度	昭和61年度	対応方針	継 続	
B / C	1.3	総費用	733億円	総便益	930億円	
現在の進捗状況						
	計 画		進捗状況			
全体事業費	428億円		210億円			
用地取得面積						
供用面積(延長)	1,009ha		391ha			
再評価後の 経過及び 処理状況	再評価時から現在に至るまで、概ね順調に事業が進展している。					

【別紙様式5】

再々評価事業に関する調書

番号	9	事業名	鎌ヶ谷市公共下水道事業	路線又は箇所名等	印旛処理区	
事業化年度	昭和49年度	用地着手年度		工事着手年度	昭和49年度	
【再評価の概要】						
再評価実施年度 (基準年)	平成10年度	供用開始 年度	昭和56年度	対応方針	継続	
B / C		総費用		総便益		
再評価時の委員会の意見及び当時の状況 事業の継続が妥当とのご意見をいただいた。						
再評価時の進捗状況及び再評価時想定の10年後の進捗状況						
		計 画		進捗状況		
全体事業費		70億円		64億円		
用地取得面積						
供用面積(延長)		228ha		207ha		
【再々評価の概要】						
再評価実施年度 (基準年)	平成20年度	供用開始 年度	昭和56年度	対応方針	継続	
B / C	2	総費用	258億円	総便益	515億円	
現在の進捗状況						
		計 画		進捗状況		
全体事業費		70億円		66億円		
用地取得面積						
供用面積(延長)		228ha		213ha		
再評価後の 経過及び 処理状況	再評価時から現在に至るまで、概ね順調に事業が進展している。					